

元気な返事と明るい笑顔がある学校づくり**勝山市立村岡小学校****1 取り組みの概要****(1) 地域や家庭と学校の連携実績**

項目	回数
地域・学校協議会	3 回
中学校区を単位とした協議会	1 回
地域及び家庭への学校公開	17 回 (のべ) 17 日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	12 人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	9 人
登下校支援ボランティア	2 人

(3) 特色ある活動

テーマ 学力向上と授業改善

具体的活動内容

本校は、平成 22・23 年度「福井県視聴覚教育研究」の指定を受け、「楽しく、なるほど、よく分かる～ICT で分かりやすく伝えて～」の研究テーマのもと、授業、学校生活全般における効果的な ICT 活用について研究を重ねてきた。これに伴い ICT 機器の常置を機に、教師も児童も「日常的に、無理なく使い、分かりやすく伝える」ことをキーワードに授業改善、授業づくりに取り組んでいる。

今年度も、開かれた学校として様々な機会を捉えて、小中の先生方を初め保育園・幼稚園の先生、学校評議員や低学年ボランティアを含む地域の方々に参観していただき、授業を中心とした教育活動に対して様々な角度からの評価を得られるよう計画的な取り組みを行った。

(1) 地域学校協議会での取り組み**第 1 回 (6 月 9 日開催)**

- ・ 連合音楽会校内発表会参観
- ・ 全学級授業参観
- ・ 平成 23 年度学校経営方針 (村岡小グランドデザイン) について説明
- ・ 全学級授業参観をして、授業での ICT 機器活用の様子やその効果・有用性について感想および意見交換を行った。
- ・ 教師と児童の良好な関係作りや児童を主体とした授業づくりについて、それぞれの立場から意見、提案があった。

**県視聴覚教育研究大会参観 (10 月 28 日開催)**

- ・ 来賓として 3 名の出席・参加
- ・ 授業参観、全体会において本校のこれまでの研究過程、成果についての理解が進められた。

**第 2 回 (11 月 16 日開催)**

- ・ 全学級授業参観
- ・ 給食参観および交流会
- ・ 縦割り児童活動の参観
- ・ 授業での教材づくりや教師の伝える工夫、外国語活動での児童の主体的学習姿勢について意見感想がかわされた。

第3回（2月10日開催）

- ・全学級授業参観
- ・2学期末学校評価の結果と1学期末評価の結果との比較から教育活動の成果や児童の変容について意見交換を実施
- ・「いじめ」の内容、早期発見早期解決のための学校、地域、家庭の連携や教育のあり方が話題になった。
- ・児童、保護者の学校評価で低く回答されている項目への手立てについて協議、提案があった。

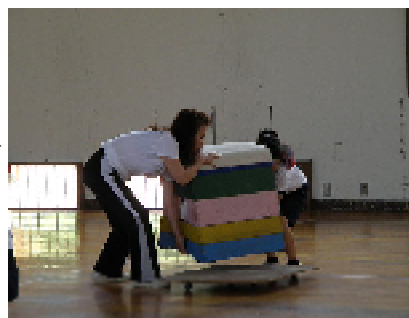
(2) 授業ボランティア活用の取り組み

<登録の経過>

- ・5月上旬・・・低学年学校生活ボランティア募集案内配布
- ・5月下旬・・・地域での経験者および保護者対象に1・2年生の授業ボランティア募集案内配布
- ・5月末までに9名が授業ボランティアとして登録

<活動内容>

- ・登録と同時に「ボランティア必携ハンドブック」を配布し、活動内容について理解を得る。
- ・毎週末に1・2年生の次週の学習予定表にボランティアが必要な時間と簡単な内容を記入して送付し、活動可能な時間を連絡してもらう。
- ・玄関で名札をつけ、直接当該の教室へ行き、授業支援(主に児童活動)を行う。



成果と課題

- ・毎回の授業参観で、各学級で日常的にICT機器が活用されている様子を見てもらい、児童の学習意欲や学習能力の向上を具体的に示すことができたと共に、視覚, 感覚的な効果について客観的な意見を得ることができた。
- ・児童・保護者による学校評価結果で「学校が楽しいと感じる」「授業が分かりやすい」と感じる児童の割合が高まっており、ICT活用による授業スキルの向上について理解が得られた。
- ・授業時間以外でも児童の様子を見てもらうことで、学校・家庭・地域の連携の大切さを認識する良い機会となった。
- ・早期に1年生への授業ボランティア導入を実施したことで、小一プロブレムの表面化があまり見られず影響が少なかった。
- ・評価を受けた部分についてもさらなる研究推進の意欲付けが行えた。